

2019 年 5 月 31 日

横浜ゴム三島工場、静岡県および静岡県三島市との 「リバーフレンドシップ制度」の協定を締結

横浜ゴム（株）三島工場（静岡県三島市）は 5 月 29 日、川の清掃や除草などの河川美化活動を行い、地域全体で身近な環境保護への関心を高めることを目的とした「リバーフレンドシップ制度」の協定を静岡県および静岡県三島市と締結しました。三島市役所にて行われた同意書調印式には原広司静岡県沼津土木事務所長、豊岡武士三島市長、松本俊成三島工場長の 3 名が参加しました。改元後の令和となってから静岡県で最初の調印式となります。

「リバーフレンドシップ制度」とは、静岡県が管理する河川の一定区間において美化活動（川の清掃、除草など）を行おうとする市民活動団体（リバーフレンド）に対して、活動に必要な物品の提供などの支援を行い、地元の市町はその活動によって生じた雑草や空き缶などの廃棄物の処分に協力する仕組みで、2004 年より導入されました。美化活動を行う団体と県・市町の三者で協定を締結し、協働により河川美化活動を行います。

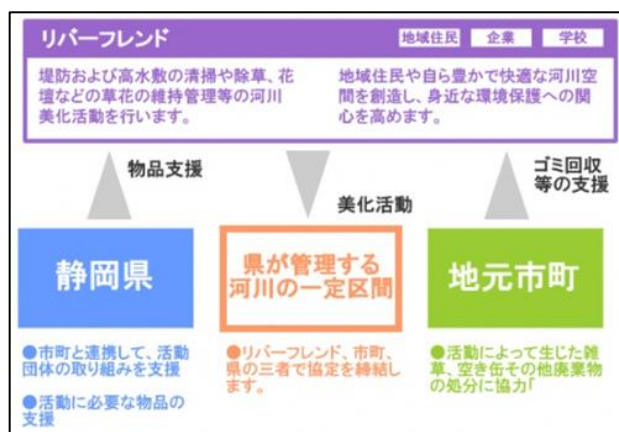
三島工場では、工場西側に隣接する一級河川御殿川の一部の流域約 300m で 2014 年度から生物多様性保全活動を行ってきました。しかしながら、2017 年頃より河川周辺で水害防災に伴う拡幅工事や河川浚渫※が進められている影響で、動植物が減少傾向にあり、三島工場は動植物を河川に呼び戻す活動を行う中、今回の「リバーフレンドシップ制度」締結に至りました。

※浚渫（しゅんせつ）：水底をさって、土砂を取り除くこと

横浜ゴムは、2018 年 2 月に策定した中期経営計画「グランドデザイン 2020（GD2020）」において各事業の成長戦略を通じた経営基盤の強化を掲げています。CSR では「未来への思いやり」をコンセプトに「地球環境」「地域社会」「お客様」など 6 つのステークホルダーごとに事業活動を通じた価値創造を推進しています。



同意書調印式に参加した
豊岡武士三島市長（左）、松本俊成三島工場長（中央）、
原広司静岡県沼津土木事務所長



リバーフレンドシップ制度の概要（静岡県）

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株）広報部 担当：岡

TEL : 03-5400-4531 FAX : 03-5400-4570